

6. この法人の事業に対する理解の普及

6-1 機関誌の発行、情報公開

<事業計画>

情報通信技術活用による教育改善の促進、情報教育の充実と普及、情報環境の整備促進、大学連携・産学連携による教育支援等の振興・促進、大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰について理解と協力を得ることを目的に、全国の大学及び関係機関に機関誌「大学教育と情報」の発行とインターネットによる発信を行う。また、全国の大学関係者に理解の普及を拡大するため、九州、関西・中四国、東海、東北、北海道の5地域で事業活動報告交流会を継続実施する。

<事業の実施状況>

「事業普及委員会」及び「事業普及委員会翻訳分科会」を継続設置して、機関誌の発行、海外情報の翻訳、インターネットによる情報公開・配信・意見収集、事業活動報告交流会を通じて、本協会が実施する公益目的事業について理解の普及を行った。以下に、委員会及び事業活動報告交流会の活動状況について報告する。

事業普及委員会、翻訳分科会

事業普及委員会は、5月16日、9月19日、11月19日、28年1月19日に平均4名または5名が出席し、4回開催した。公益目的事業の理解普及を推進するため、年間4回の機関誌「大学教育と情報」の発行とホームページで情報公開を行った。また、翻訳分科会は機関誌でとりあげるべき海外の情報がなかったことから、分科会を開催しなかった。平成28年度以降は、事業普及委員会で翻訳すべき内容を吟味した上で、翻訳を決定した場合に分科会を開催し、翻訳活動することを確認した。以上その他、公益目的事業の理解の普及を図るため、事業活動報告交流会を地域別に実施した。

(1) 機関誌「大学教育と情報」の発行

6月、9月、12月、3月の4回に亘り、80頁の規模で全国の大学・短期大学、文部科学省・関係団体、賛助会員を対象に以下の方針で、13,500部を発行している。

- ① 公益目的事業に対する理解の促進を図るために、事業活動の内容に加えて大学における教育改善、情報教育への取り組み、国や関係機関の審議動向、マスコミ報道などを踏まえ、時宜に適ったインパクトのある情報を提供するようにした。
- ② 上記の方針に沿って、特集では、アクティブ・ラーニングを効果的に進めていくため、反転授業を導入した授業改善の実践事例の紹介と、ICTを活用した教学マネジメントの試みを2号に亘り、教職協働による教育の質向上の取り組み、シラバスによる相互点検、学修成果の可視化など全学的な取り組み事例を紹介することにした。
- ③ 「新しい学びの扉」として、主体的な学びを目指した産学連携による初年次教育を実施しているFSP講座の実施状況を紹介することにした。
- ④ 「教育・学修支援への取り組み」では、ICTを活用した教育・学修支援への取り組み状況及び教育事例等を紹介することにした。
- ⑤ 「人材育成のための授業紹介」では、これまで学問分野別授業でのICT活用事例の紹介を行ってきたが方針を改め、大学として組織的にICTを活用して教育効果を高めている取り組みを紹介することにした。
- ⑥ 海外ニュースは、即時性・話題性のある内容を翻訳あるいは抄訳して紹介しているが、大学関係者に参考となる情報が見つからなかった場合は翻訳作業は行わず、次年度に向けて情報収集を行うことにした。

以下に、平成27年度に4回発行した目次を掲載する。

大学教育と情報（2015年度No. 1：27年6月）

- ・卷頭言「『したたかな試行錯誤』の時代」 村上 宏之
- ・特集「反転授業を導入した授業改革の取り組み」「反転授業を組み合わせたアクティブラーニングの取り組み」「教養教育・文系授業科目における反転授業の実践」「物理系科目『基礎水理学』への反転授業の導入と課題」「JM0OC講座を活用した反転授業の実施」 森澤 正之
岩下 志乃、伊藤 雅仁
大野 澄雄、亀田 弘之
- ・人材育成のための授業紹介
「ICT活用による中国語文法授業事例～体験型音楽語学教材の試用～」 山田留里子、賀 南
「経済学基礎教育における学修支援としてのeラーニング利用と教育効果」 児玉 俊介、上村 一樹
佐藤 崇、澤口 隆
翼 靖昭
- ・教育・学修支援への取り組み [湘南工科大学]
- ・投稿
- ・各事業への参加募集
- ・私情協ニュース
- ・事業活動報告
- ・賛助会員だより

大学教育と情報（2015年度No. 2：27年9月）

- ・卷頭言「半世紀の変化-変わらないこと、変わったこと」 宮城 光信
- ・新しい学びの扉
「教育の質が向上することで、学生はどう変わるのか？」
～未来を創る『主体的な学び』を実践するFuture Skills Project研究会の挑戦～ 平山 恒子
「法政大学／課題を解決すること、そして、課題を 竹内 淑恵
設定すること～講座最終日に学生へ贈ったメッセージ～」
- 「金沢学院大学／チーム金沢学院の挑戦～教職協働で作る学生の学びの機会～」 前川 浩子
「名城大学／二つの企業を経験する意味」 田澤 宗裕 橋場 俊展
「明治大学／学生の「気付き」から気付く専門講義への示唆」 久保 隆光
- ・人材育成のための授業紹介
「ICTを用いた能動的な対面学修と事前・事後学修」 及川 義道
「大教室における学修支援システムを活用した基礎知識定着の試み」 児島 完二
- ・教育・学修支援への取り組み [玉川大学]
- ・各事業への参加募集
- ・事業活動報告
- ・賛助会員だより

大学教育と情報（2015年度No. 3：27年12月）

- ・卷頭言「『生涯学びを楽しむ』人材育成を目指す大学づくり」

吉久 光一

- ・特集「教学マネジメントの試み(1)」
「世界に貢献する理工学人材の育成に求められる
学修マネジメントシステム～芝浦工業大学～」
角田 和巳
- 「大学教育の質的転換促進の工夫～創価大学AP事業の試み～」
関田 一彦
- 「シラバスと修学指導への取り組み～金沢工業大学～」
河合 儀昌
- 「地域総合科学科に適合したアクティブラーニングの活性化と
学修成果の可視化～京都光華女子大学短期大学部～」
小山 理子
- 「アクティブ・ラーニングを軸とした教育改革の課題～県立広島大学～」
馬本 勉
- 「徳島大学の教学マネジメントとAP採択事業『SIH道場』」
川野 領二、久保田祐歌
による全学へのアクティブ・ラーニング展開の試み」
- ・教育・学修支援への取り組み [追手門学院大学]
- ・各事業への参加募集
- ・事業活動報告
- ・賛助会員だより

大学教育と情報 (2015年度No. 4 : 28年3月)

- ・巻頭言「『夢追人』育成システム」
谷岡 郁子
- ・特集「教学マネジメントの試み (2)」
「教学マネジメントと教・職・学の協働による
教育の質向上に向けた取り組み～横浜国立大学～」
曾根 健吾、梅澤 修
「基本姿勢は “For all the students” ～福岡工業大学～」
高原 健爾、小田部貴子、
宮本知加子
- 「アクティブ・ラーニング導入によるカリキュラム・
教育方法・学修支援環境の統合的な改革～金沢大学～」
杉森 公一、河内 真美
上畠 洋佑
- 「社会で認められる大学での評価を求めて～関西国際大学における
『産業界と連携した インターソシップのプログラム開発と評価』の実践～」
橋本 健夫、乾 正憲
- 「『Webシラバス・システム』を核とした教育改革の取り組み～富山短期大学～」
安達 哲夫
- ・人材育成のための授業紹介：初年次教育
「卒業生を活用した主体性を育む初年次教育」
西村 靖史
「ICT活用による組織の社会的責任の重要性の認識」
佐々木利廣
～初年次科目「企業と社会」での取り組み～
「学科統合型の初年次教育の試み」
中村 文紀、青木 義男
- ・教育・学修支援への取り組み [江戸川大学]
- ・各事業への参加募集
- ・私情協ニュース
- ・事業活動報告
- ・賛助会員だより

(2) インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの枠組みを事業活動に連動できるよう、「望ましい教育改善モデルの探究」、「情報教育のガイドライン」、「高度な情報環境づくり」、「大学連携・産学連携の推進」、「教職員の教育力向上」、「高度情報化の支援」、「分野別研究発表の検索」を設定し、事業の活動報告としての成果物及び各種委員会の議事概要を公開している。また、事業ごとにインターネットで意見・要望を収集するための入力サイトを設け、事業の点検・評価・改善を行っている。